



櫻井 啓一
(自民党)

**産業競争力の強化
と産業拠点の充実に
を図るべき**

問 12月議会で、産業用地の取得に係る補正予算案が提出され、産業競争力の強化に向けた戦略的かつ積極的な取り組みを期待している。

①戦略的な取り組みとして、平出工業団地の用地取得に至った考え方は、
②産業拠点である宇都宮インターチェンジ周辺地域は、北西部地域の拠点であり、土地の有効活用を促進させるために、地籍調査が必要であると考えられるがどうか。

答 ①市への進出を検討する企業からの問い合わせが増加する中、急増する用地需要に、迅速に対応するためには、産業拠

点と位置づけた既存工業団地内の未利用地の活用が有効な方策の1つと考えている。このような中、パナソニック株式会社から、市のまちづくり

に協力したいという観点で工場跡地買い取りの打診があり、協議を進めることとした。

②地籍調査により、土地の境界や面積が明確になることで、円滑な土地利用などが可能となり、産業拠点としての充実につながると認識しているが、当地区内には、公図と現況が一致しない地区も一部あるため、今後、法務局や県なども協議しながら、地籍調査の手法などを検討していく。

その他の質問項目

①市長の政治姿勢(28年度予算編成、LRTの整備推進ほか)②JRR宇都宮駅東口地区整備事業③市職員の人材育成と処遇改善④関東・東北豪雨災害の検証と今後の対策など⑤新最終処分場仮称第2エコパークの整備⑥消防力の強化と消防団の環境整備充実



舟本 肇
(自民クラブ)

**平出工業団地内の
工場跡地の活用で
地域活性化を**

問 企業誘致で雇用を創出拡大することは、地域活性化の大きな力となることから、平出工業団地内のパナソニック工場跡地の取得に賛成する。

①多くの雇用が確保できる製造・生産企業の進出が望ましいが、どのような企業を誘致するのか。

②JRRの新駅構想や誰もが安心して安全に移動できる公共交通網の構築構想があるが、当地域の交通施策をどう考えるか。

答 ①ものづくりの拠点としての機能の維持・充実を図ることが重要であることから、雇用の創出・拡大や、市経済の更なる発展に繋がるような

製造業をはじめとした企業の誘致に努めていく。
②JRRの新駅設置は、市による多額の事業費の負担や新駅の運営・管理に必要な利用者数の確保など、多くの課題があることから、現時点では困難である。しかし、市全域において公共交通空白・不便地域の解消に取り組んでおり、当地域の公共交通ネットワークについては、31年度のLRT開業と合わせたバスネットワークの再編を進める中で、LRTとJRR岡本駅との結節強化やバス路線の充実など子どもからお年寄りまで、誰もが移動しやすい交通環境の整備に取り組んでいく。

その他の質問項目

①市長の政治姿勢(28年度予算編成、宇都宮ライトレール株式会社とLRT事業推進の取り組みほか)②地域主体のまちづくりの推進③二十歳の歯周病検診の導入④城址公園土塁内への山車、屋台等の収蔵施設整備⑤教育行政(いじめの現状と対策ほか)



駒場 昭夫
(市民連合)

**電柱広告を活用した
公共情報の案内
サービス表示を**

問 公共情報の案内サービス表示について聞く。

①災害時の避難場所を周知するために、まちかど情報マップ等で避難場所や経路の確認ができるが、災害が発生した場合のように避難すればいいのか判断が難しい。
避難場所誘導手段の充実のため、よく目に止まる電柱広告を活用しては、

②ジャパンカップサイクルードレースや宇都宮マラソンなど、地域振興やイベントの活性化、公共施設案内や防犯・防災・観光資源等の情報提供に電柱広告を活用しては、

答 ①電柱広告を活用した避難場所の誘導案内に

については、27年6月に電柱管理者から申し出があり、多くの人目に付きやすく有効な手段であることから、27年12月1日に「広告付避難場所等電柱看板に関する協定」を電柱管理者と締結した。
今後は、看板の掲出について協議していく。

②ジャパンカップサイクルードレース等のイベント情報提供や、公共施設の情報提供など、屋外の案内表示については、電柱広告の活用を含め、目的に応じた効果的な手法を今後、検討していく。

その他の質問項目

①LRT導入計画②がん検診受診率の向上策③市民の健康づくり④美化推進重点地区と路上喫煙等禁止区域の取り組み⑤市管理地内の樹木等の管理⑥特別舗装道路の建設と維持⑦住宅火災時の太陽光発電システムでの感電防止⑧鳥獣害対策用電気柵の安全対策

